

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【公開番号】特開2015-182409(P2015-182409A)
 【公開日】平成27年10月22日 (2015.10.22)
 【年通号数】公開・登録公報2015-065
 【出願番号】特願2014-63234(P2014-63234)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

B 4 1 J 2/19 (2006.01)

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/175 5 0 1

B 4 1 J 2/19

B 4 1 J 2/165 2 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月28日 (2017.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷ヘッドと、

前記印刷ヘッドとインクカートリッジとを連通させ、第 1 部材と、前記第 1 部材に対向する第 2 部材と、により区画されるインク流路と、

前記第 2 部材の一部分であるダイヤフラム弁と、

前記ダイヤフラム弁を、前記第 1 部材の一部分に当接する流路閉塞位置と、前記第 1 部材から離間する流路開放位置との間で、前記インク流路の外側から移動させる弁体移動機構と、

前記弁体移動機構の駆動源である駆動モーターと、を備える、インクジェットプリンター。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記第 1 部材は、前記第 2 部材側に延びる隔壁を有し、

前記第 2 部材は、前記隔壁に対向する領域に迂回流路、及び前記ダイヤフラム弁を有し

、
前記ダイヤフラム弁は、前記流路閉塞位置において、前記迂回流路と前記隔壁より下流側の流路部分とが連通する開口を封鎖する、インクジェットプリンター。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、

前記弁体移動機構は、

前記ダイヤフラム弁に取り付けられ、前記ダイヤフラム弁が前記流路閉塞位置に位置する閉塞位置と、前記ダイヤフラム弁が前記流路開放位置に位置する開放位置との間で移動する移動部材と、

前記移動部材を前記閉塞位置側に付勢する付勢部材と、

前記駆動モーターの回転により回転するカムと、

を備え、

前記駆動モーターが第1方向に駆動すると、前記カム¹の回転により、前記移動部材が前記閉塞位置から前記開放位置に移動され、前記駆動モーターが前記第1方向とは逆の第2方向に回転すると、前記カム¹の回転により、前記移動部材が前記開放位置から前記閉塞位置に移動する、インクジェットプリンター。

【請求項4】

請求項3において、

前記カムに同軸に連結された間欠歯車と、前記駆動モーターの回転を前記間欠歯車に伝達する伝達歯車と、を有し、前記モーターの回転を前記カムに伝達する駆動力伝達機構を備え、

前記間欠歯車は、周方向の一部分に形成された歯部を備える間欠歯車本体と、前記間欠歯車本体の回転軸の軸線方向から見た場合に前記歯部の周方向の一方側に配置された第1誘い歯を備える第1ラッチ部材と、前記歯部の周方向の他方側に配置された第2誘い歯を備える第2ラッチ部材と、バネ部材を備え、

前記第1ラッチ部材は、前記間欠歯車本体の回転軸と平行な第1平行回転軸回りを回動し、前記第1誘い歯が前記歯部に隣り合う第1隣接位置と、前記第1誘い歯が前記歯部から前記一方側に離間する第1離間位置との間を移動可能であり、

前記第2ラッチ部材は、前記間欠歯車本体の回転軸と平行な第2平行回転軸回りを回動し、前記第2誘い歯が前記歯部に隣り合う第2隣接位置と、前記第2誘い歯が前記歯部から前記他方側に離間する第2離間位置との間を移動可能であり、

前記バネ部材は、前記第1ラッチ部材を前記第1隣接位置に付勢するとともに、前記第2ラッチ部材を前記第2隣接位置に付勢する、インクジェットプリンター。

【請求項5】

請求項3または4において、

前記駆動モーターを駆動制御する制御部を有し、

前記制御部は、前記駆動モーターを予め定めた駆動時間だけ前記第1方向または前記第2方向に駆動して、前記ダイヤフラム弁を移動させる、インクジェットプリンター。